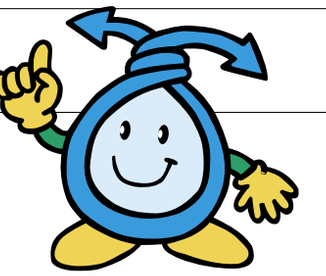


グリーンテクノロジーで自然との調和をめざして

収集運搬

使用済みてんぷら油をごみ収集車の燃料にする
（平成１０年度新エネ大賞資源エネルギー庁長官賞）

家庭ごみの収集車両は使用済みてんぷら油から転換した「バイオディーゼル燃料」を使用しています。バイオディーゼル燃料は，環境にやさしい燃料として注目されています。

地域での使用済みてんぷら油の回収にご協力ください。

- 大気汚染につながる「黒煙」
- 酸性雨の要因になる「硫黄酸化物」
- 地球温暖化につながる「二酸化炭素」

} が少ないのです。

使用済み食用油の再利用

焼却処理

ごみから電気をつくる

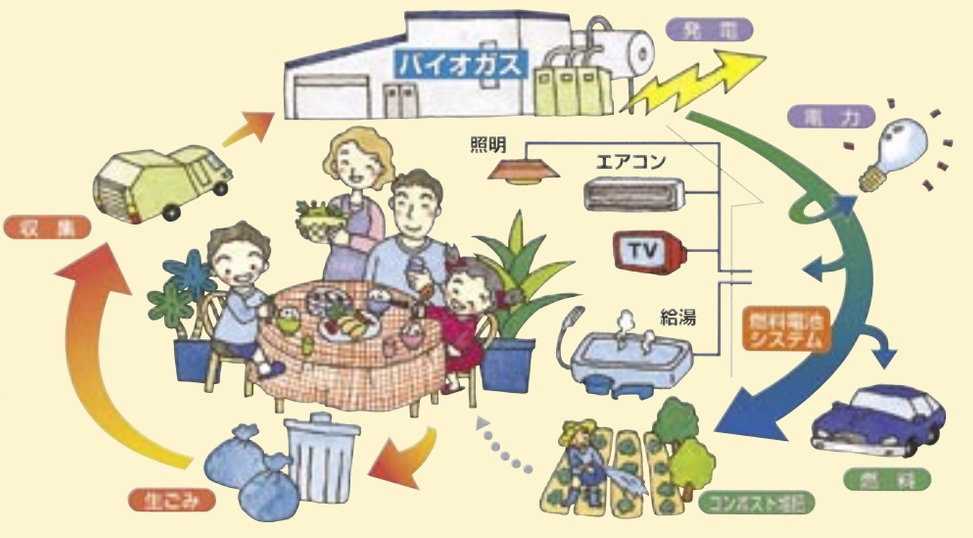
市内３ヶ所のクリーンセンターは発電施設を併設して，ごみの焼却熱から電気や熱エネルギーとして最大限利用することで，二酸化炭素の削減に寄与しています。

発電した電力は，場内や市民が使用する温水プールや体育館等の冷暖房等に利用するとともに，余った電力は電気会社に売却しています。

最大発電能力 **31,000kwh=**
1年間発電すると

京都市全世帯で使用される
約1ヶ月の電力に相当

新しいごみ処理の模索
生ごみから発電！　生ごみからのバイオガス化実証研究への取り組み

生ごみ等を発酵させてメタンガスを取り出し，電力と熱に変換して有効利用するものです。再生可能な自然エネルギーとして温室効果のある二酸化炭素を削減できるほか，発酵後残さは臭気がなく，堆肥化すれば良質なコンポストとしても利用できます。

現在,民間企業,国と連携して，市内のホテルから発生する生ごみと街路樹の剪定枝等を用いて，研究を進めています。